



本資料は、米国アッヴィ社が2022年7月29日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2022年8月4日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2022年8月4日

アッヴィ、2022年第2四半期の業績を発表

- 第2四半期の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、21.4%増の0.51ドルでした。調整後希薄化後EPSは11.2%増の3.37ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.14ドルのマイナスの影響が含まれます¹。
- 第2四半期の売上高は、報告ベースで4.5%増、営業ベースで6.1%増の145億8,300万ドルでした。
- イミューロロジー(免疫)領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで17.8%増、営業ベースで19.2%増の72億700万ドルでした。ヒュミラ®の米国での売上高は、9.6%増の46億6,400万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで13.8%減、営業ベースで7.3%減の6億9,900万ドルでした。スキリージ®の売上高は、12億5,200万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、5億9,200万ドルでした。スキリージ®とリンヴォック®で売上高は、18億4,400万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで9.1%減、営業ベースで7.9%減の16億5,000万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は17.1%減の11億4,500万ドルで、その内訳は、米国内が8億6,200万ドル、米国外が2億8,300万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、5億500万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで13.7%増、営業ベースで15.2%増の16億5,800万ドルでした。ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、6億7,800万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、4億9,200万ドルでした。
- エステティクス領域の第2四半期の売上高は、報告ベースで4.4%減、営業ベースで2.1%減の13億7,100万ドルでした。ボトックス・コスメティックの売上高は、6億9,500万ドルでした。Juvederm(ジュビダームビスタ®として、アラガン・ジャパン株式会社による承認・販売)の売上高は、中国におけるCOVID-19による制限、ロシアにおけるエステティクス事業の停止による影響で3億4,400万ドルでした。



- 2022 年度における調整後希薄化後 EPS の見通しは、13.78ドル～13.98ドルとなります。これには、2022 年度の年初から第 2 四半期までに発生した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.23 ドルのマイナスの影響が含まれます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2022 年 7 月 29 日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2022 年第 2 四半期(2022 年 6 月 30 日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「新製品や新適応症により今四半期もまた業績は好調でした。特に、スキリージ®、リンヴォック®は好調を維持し、このペースでいくと 2 製品の年間売上高は約 75 億ドルを達成する大きな可能性を示しています。このように好調なビジネスとパイプラインの進展により、アッヴィの長期的な見通しは引き続き有望です」

注意: 「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

¹2022 年第 1 四半期から、アッヴィは、コラボレーション、ライセンス契約、資産取得などに関する前払およびマイルストーン支払の影響を報告ベースの non-GAAP 指標に含めています。

2022 年第 2 四半期の業績

- 売上高は、GAAP ベースで 4.5%増、営業ベースで 6.1%増の 145 億 8,300 万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の売上高は、報告ベースで 17.8%増、営業ベースで 19.2%増の 72 億 700 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 5.8%増、営業ベースで 6.8%増の 53 億 6,300 万ドルでした。米国での売上高は、9.6%増の 46 億 6,400 万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで 13.8%減、営業ベースで 7.3%減の 6 億 9,900 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 85.9%増、営業ベースで 88.3%増の 12 億 5,200 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 56.3%増、営業ベースで 60.7%増の 5 億 9,200 万ドルでした。
 - スキリージ®とリンヴォック®の売上高の合計は 18 億 4,400 万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで 9.1%減、営業ベースで 7.9%減の 16 億 5,000 万ドルでした。



- イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は 17.1%減の 11 億 4,500 万ドルで、その内訳は、米国内が 8 億 6,200 万ドル、米国外が 2 億 8,300 万ドルでした。
- ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 16.2%増、営業ベースで 21.2%増の 5 億 500 万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の売上高は、報告ベースで 13.7%増、営業ベースで 15.2%増の 16 億 5,800 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで 12.6%増、営業ベースで 14.5%増の 6 億 7,800 万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、13.9%増の 4 億 9,200 万ドルでした。
 - Ubrelyvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、1 億 8,500 万ドルでした。
- エステティクス領域の売上高は、報告ベースで 4.4%減、営業ベースで 2.1%減の 13 億 7,100 万ドルでした。
 - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 18.9%増、営業ベースで 21.2%増の、6 億 9,500 万ドルでした。
 - Juvederm (ジュビダームビスタ®として、アラガン・ジャパン株式会社による承認・販売)の売上高は、中国における COVID-19 による制限、ロシアにおけるエステティクス事業の停止による影響により、報告ベースで 19.5%減、営業ベースで 15.7%減の 3 億 4,400 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 71.4%でした。調整後売上総利益率は 84.7%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、37.1%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 20.8%でした。
- GAAP ベースおよび Non-GAAP 調整後ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、11.0%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は、1.8%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 22.6%でした。調整後営業利益率は 51.0%でした。これには、仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による 180 ベースポイントのマイナースの影響が含まれます。
- 純支払利息は 5 億 3,200 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は、21.6%でした。調整後の税率は、13.4%でした。



- 希薄化後 EPS は、GAAP ベースで 0.51 ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、3.37 ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.14 ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-second-quarter-2022-financial-results.htm?_ga=2.105774531.1134191737.1659303970-753648006.1657771949

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカアカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions, among others, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those indicated in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, the failure to realize the expected benefits of AbbVie's acquisition of Allergan or to promptly and effectively integrate Allergan's business, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2021 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with

abbvie

the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.